

基本政策 8の施策体系

(基本目標 4) 自然と共生し、安全・安心な社会を支える強靱なまちを目指します

基本政策8 四季を通じて暮らしやすい快適な都市の構築

【目標像】

- 社会資本が良好に機能し、安全・安心な市民生活や社会活動が営まれています。
- まちづくりの担い手が力を発揮し、雪対策や魅力ある景観づくりなど、四季を通じて快適に暮らせる住環境が形成されています。

【成果指標】

指 標	基準値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標値(H39)
快適に生活できる環境にあると感じている市民の割合	38.6% (H27)	42%	—	49%
心地良い景観だと感じている市民の割合	37.4% (H27)	42%	—	50%
環境基準達成度	11/14 項目 (H26)	14/14 項目	—	14/14 項目

施策1 市民生活を支える都市機能の維持

展開施策1 都市基盤の整備・保全

(評価指標)

- ・ 市道改良率
- ・ 都市計画道路整備率
- ・ 公園施設の更新割合
- ・ 河川管理施設における対策が必要な箇所数
- ・ 公園や遊び場の整備状況が良いと感じている市民の割合

展開施策2 水道水の安定供給

(評価指標)

- ・ 水道管の耐震化率
- ・ 水質基準の適合率

施策2 暮らしやすい都市環境の充実

展開施策1 安定した除排雪体制の確保

(評価指標)

- ・ 除排雪が良いと感じている市民の割合
- ・ 地域除雪活動に取り組む組織数

展開施策2 快適な住環境と良好なまち並みづくりの推進

(評価指標)

- ・ 自ら居住する住宅の住み心地が悪いと感じている市民の割合

展開施策3 安全な市民の暮らしの確保

(評価指標)

- ・ 建築物の耐震化率
- ・ 適正に管理されていない空き家の数
- ・ 吹付アスベスト除去等要対策棟数
- ・ 車や工場などの騒音や振動について良好という市民の割合
- ・ 公園や遊び場の整備状況が良いと感じている市民の割合
- ・ 自ら居住する住宅の住み心地が悪いと感じている市民の割合